

高浜誕生から100年の歩み

昨年12月に高浜市は市制施行35周年を迎えました。今年は現在の高浜市の前身である高浜町が発足し、100年目を迎えました。高浜の誕生から現在までの100年を紹介します。

- 明治39年5月 当時の高浜町、吉浜村、高取村の1町2村が合併し、新しく高浜町として発足
- 大正3年2月 三河鉄道(名鉄三河線)が開通、高浜港駅、吉浜駅が開設
- 大正7年4月 三河高浜駅が開設
- 大正8年1月 高浜町役場が現在地に新設(所在地は碧海郡高浜町大字高浜字馬場30番地)
- 昭和17年5月 町内会、部会、隣組制実施、回覧版始まる
- 昭和19年3月 国立高浜海員学校創立
- 昭和22年4月 町立高浜中学校創立
- 昭和27年7月 住民登録制度の施行
- 昭和29年3月 高浜町第1号広報紙発行
- 昭和29年6月 高浜町シンボルマーク「町章」決定
- 昭和30年8月 高浜電報電話局開局
- 昭和31年4月 衣浦大橋開通
- 昭和34年4月 衣浦公園内(現在の森前公園付近)に貝の博物館完成
- 昭和34年9月 伊勢湾台風が来襲
- 昭和36年4月 県立高浜職業訓練校開所
- 昭和37年2月 高浜町上水道完成
- 昭和39年3月 「吉浜細工人形」県無形文化財に指定
- 昭和39年4月 高浜町老人クラブ誕生
- 昭和40年5月 「えんちよ」獅子「県無形文化財」に指定
- 昭和42年3月 日本ボーイスカウト愛知県高浜第一団少年隊誕生
- 昭和44年4月 県立高浜高等学校新設
- 昭和45年12月 県下28番目(全国で59番目)の市「高浜市誕生」

- 昭和46年4月 体育協会発足
- 昭和46年12月 市の木に「フスノキ」が決定
- 昭和48年10月 ゴミ料金の無料化とごみステーション方式始める
- 昭和50年11月 市民憲章・市の花に「キク」が決定
- 昭和50年12月 「射放」が初の市指定文化財になる
- 昭和51年4月 ガールスカウト愛知第54団発足
- 昭和52年3月 高浜市庁舎、勤労者体育センター完成(現高浜市体育センター)
- 昭和53年4月 南中学校創立
- 昭和54年3月 図書館、保健センター完成
- 昭和55年4月 武道館オープン
- 昭和55年9月 市民センター完成
- 昭和57年12月 「健やかな青少年を育て交通ルールを守る都市」宣言
- 昭和58年4月 湯山住宅、湯山公園完成
- 昭和58年11月 市民菜園利用開始、衣浦斎園業務開始
- 昭和59年9月 衣浦衛生組合し尿処理施設完成
- 昭和60年2月 総合防災訓練を実施する
- 昭和61年3月 市立病院オープン
- 平成元年8月 東海児童センター・東海会館、大山公民館完成
- 平成元年9月 高浜中部特定土地地区画整理事業完了
- 平成2年3月 岐阜県瑞浪市と姉妹都市提携を締結
- 平成4年1月 町区域の設定業務完了
- 平成5年4月 特別養護老人ホーム「高浜安立荘」開所
- 平成6年9月 わかしやち国体デモンストレーション「少年スポーツ交流軟式野球」開催
- 平成7年10月 高浜市やきもの里から美術館オープン、こみの分別収集スタート
- 平成8年4月 いいき広場オープン
- 平成9年8月 第一回「高浜市民レガッタ」開催
- 平成10年11月 漕艇センターオープン
- 平成12年4月 ねんりんピック愛知・名古屋大極拳交流大会が高浜市で開催
- 平成13年3月 介護保険制度が始まり、その取組みが全国に注目される
- 平成14年4月 高浜市役所が環境マネージメントシステムの国際規格ISO14001の認証取得
- 平成14年7月 翼小学校が市内5番目の小学校として開校
- 平成15年4月 親子の交流の場「イチゴプラザ」オープン
- 平成17年6月 衣浦東部広域連合が発足し、消防業務が5市の統合になる
- 平成17年10月 愛知万博高浜市の日として参加
- 高浜市制35周年記念事業帆船日本丸が奇航



空から見た現在の高浜市



⑥ねんりんピック(太極拳)



⑦庁舎も築30年になります



昭和50年代の高浜の本町通り



①日本丸



⑩翼小学校



⑨姉妹都市提携



昭和30年代高浜のすずめは黒いと言われたころの煙突と煙



④現在は市草です



②町役場



①三河鉄道開通SL

高浜市制施行記念



⑥記念式典



昭和20年代にあった大山の山荘



⑤衣浦大橋開通



⑧広報誌1号



大正期の窯業(ダルマ窯)